

追加資料1

No	委員名	資料	ページ	項目	内容	回答	担当課
1	川越委員	3	4	高齢者虐待予防に関する研究等	セルフ・ネグレクト事例を把握して、事例の背景や支援内容などの把握を進めているとのこと。これまでに把握しえた知見や分析の成果について、そのエッセンスをご紹介ください。	<p>本市の高齢者虐待防止ネットワークにて定義したセルフ・ネグレクト状態にあると判断されたケースは男性が半数以上を占め、75～84歳の高齢者が多くとなっております。また、病気を放置し医療機関を受診していない、身体の汚れや悪臭がある、屋内に腐った食品やゴミが放置され悪臭がある、等の状態が多く見られました。</p> <p>解決に向けて連携している機関として、医療機関および介護サービス事業所がそれぞれ4割を超え、課題改善の入口としてそれらの機関に繋ぐ支援の重要性を改めて確認いたしました。</p> <p>なお、判断能力の低下等を含め無意図的な事情により支援に繋がっていないものの、地域包括支援センターをはじめとした支援者の介入によりセルフ・ネグレクト状態が改善されるケースも多く、令和5年度にはより状況改善が難しいケースを抽出することを目的にセルフ・ネグレクトの定義の見直しを図りました。</p>	地域包括ケア推進課
2	川越委員	6	2	松戸市虐待防止連携推進会議における意見と対応状況	早期発見の重要性は言わずもがなです。これまでの虐待通報において、早期発見に役立った通報の好事例がありましたら、いくつか例示の上、お示しください。	<p>日頃から子どもやその家庭に接している関係機関が、子どもの状況、保護者や家庭状況で気になる様子が見られた場合に、通告の基準となる共通のアセスメントシートを用いた通告を促しています。このアセスメントシートは、「松戸市子ども虐待の手引き」に掲載しており、関係機関に配布しています。</p> <p>また、関係機関との顔が見える関係作りにも力を入れております。相談しやすい関係性となることで、その相談の中に虐待性や要支援性があった場合、必要な対応を速やかに繋げることが出来ていると感じております。</p> <p>松戸市は児童分野と母子保健分野が同一部署にあることから、両分野の連携をスムーズに行うことが出来ており、このことは虐待の予防や早期発見に繋がっていると思われます。具体的には、1歳6か月児健康診査や3歳児健康診査において、母子保健担当が保護者の方の心配な様子を把握した場合、速やかに情報共有されます。あるケースでは、即日こども家庭センターが保護者の方にお話するなど対応する事案もございます。</p>	こども家庭センター

令和6年度 第1回松戸市虐待防止連携推進会議 ご意見まとめ

No	委員名	資料	ページ	項目	内容	回答	担当課
2 (続き)	川越委員	6	2	松戸市虐待防止連携推進会議における意見と対応状況	早期発見の重要性は言わずもがなです。これまでの虐待通報において、早期発見に役立った通報の好事例がありましたら、いくつか例示の上、お示しください。	<p>・3世代同居の家庭において、子から高齢者に対する虐待の疑いで介入。聞き取りの中で、子は(高齢者からみた)孫に対しても虐待のリスクが懸念されることから、育児の相談先としてごも家庭センターを紹介するとともに、同センターへの情報提供にも了承をいただき、早期に関係機関へ繋ぐことができました。</p> <p>・施設入所中の高齢者で、利用料の支払いが滞っていることから、経済的虐待の発見に至ったケースが複数ありました。施設での困りごとを早期に相談することにより、虐待の早期発見・対応ができました。</p>	地域包括ケア推進課
						<p>・庁内他課より、親と子が来庁してお話を聞いている中で、高齢者虐待及び障害者虐待の可能性があるのでないかと相談があった事例です。即時、地域包括ケア推進課職員、障害福祉課職員が話し合いに参加し、その場でアセスメント実施、支援方針、役割分担を行い、早期介入・早期対応に繋がりました。</p> <p>・親のケアマネジャーが自宅訪問時に障害者虐待の疑いがある状況を把握し、当課へ通報があった事例です。当課で被虐待者に事実確認をしたところ、高齢者虐待の疑いもあることが分かり、当課から地域包括支援センターに通報しました。ケアマネジャーが世帯全体をしっかりと把握出来ていたことで障害者虐待通報に繋り、その結果高齢者虐待疑いがあることも把握することに繋がりました。</p>	障害福祉課
						<p>施設従事者等による虐待では、従事者等からの通報もあり、過去には虐待が発生した直後に通報をいただくという事案もございました。また、事業所責任者から「虐待と思われる行為が発生したため報告したい」と利用者の安全を確保をした後に届出をいただくこともございます。</p> <p>その他にも、施設等での対応について「これは虐待に当たらないか」と相談を受ける中で、通報に至った事案もございます。これは施設従事者等の皆様の虐待防止の意識が高まっていることから、早期の通報・届出に繋がっているものと考えております。</p>	指導監査課

令和6年度 第1回松戸市虐待防止連携推進会議 ご意見まとめ

No	委員名	資料	ページ	項目	内容	回答	担当課
3	川越委員	6	6	連携強化に向けた取組	令和5年度に児童・障害・高齢で連携を図った虐待事例計60例のうち、サービス担当者会議などフォーマルな会議の場に、副担当である担当課も出席した事例の数をお聞かせください。	児童虐待の対応等においては、こども家庭センターが主担当となり個別支援会議を開催し、令和5年度では虐待対応を行っている障害分野との連携は18件、高齢者分野との連携は6件ございました。児童虐待の対応等において、こども家庭センターが副担当となる事案はございません。なお、障害分野との連携のうち障害福祉課が参加した事例は7件、地域包括ケア推進課が参加した事例は3件ございました。	こども家庭センター
						令和5年度、児童・障害者分野と連携を図った事例24件です。当課が担当者会議を開催及び参加した事例は計6件であり、そのうち副担当として出席した事例は1件でございます。	地域包括ケア推進課
						令和5年度、児童・高齢分野と連携を図った事例12件です。当課が担当者会議を開催及び参加した事例は計5件であり、そのうち副担当として出席した事例は3件でございます。	障害福祉課
4	星野委員	1	5	直近5か年の通報等受理・認定状況	高齢者、障害者、児童虐待における通告・通報者の内訳を一覧にしてお示ください	別紙にて回答いたします。	こども家庭センター 地域包括ケア推進課 障害福祉課 指導監査課
5	星野委員	2	1	基本方針	マイサポートスペース事業の令和元年度からの登録者数の推移を教えてください	マイサポートスペース事業は令和5年4月から開始しました。「マイサポートスペース」は、妊婦や0歳から2歳の保育サービスを利用していないご家庭が身近に相談、利用できる場所として登録した市内の地域子育て支援拠点となります。登録していただくことで、松戸市子育て情報LINEに登録した地域子育て支援拠点のイベントや子育て関連の情報が定期的に配信されるような仕組みになっています。令和6年3月末時点で、登録者数は2千件超となっております。	こども家庭センター

令和6年度 第1回松戸市虐待防止連携推進会議 ご意見まとめ

No	委員名	資料	ページ	項目	内容	回答	担当課
6	星野委員	2	1	基本方針	子育て世帯訪問支援事業(まつどりbabyヘルパー)の令和元年度からの利用申請数、利用決定通知書発行数の推移を教えてください	<p>子育て世帯訪問支援事業(まつどりbabyヘルパー)は、R5.8月から実施しています。家事育児に対して不安や負担を抱える子育て家庭、2歳未満の児童を養育している保育サービスを利用していない家庭及び妊婦の居宅を訪問支援員が訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事育児の支援を実施することにより、当該家庭の周囲からの孤立や虐待リスク等の高まりを未然に防ぐことを目的としています。</p> <p>利用申請数(利用決定通知書発行数 同数) R5年度 312人 R6年度 63人 ※R6.5月時点(速報値)</p>	こども家庭センター
7	星野委員	2	3	講師派遣	参加人数、内容を教えてください	<p>○講師派遣 随時実施(12件) ○参加人数 それぞれの主催機関によるものであり把握しておりません。 ○内容 内容は主催機関からの依頼内容に沿ったものとなっておりますが、主として、「こども家庭センター」の取り組みや「まつどりbabyヘルパー(子育て世帯訪問支援事業)」等の事業を紹介しております。また、児童福祉法の改正により令和6年4月から「こども家庭センター」の設置が努力義務とされましたが、松戸市においては改正児童福祉法の施行に先駆け令和5年度から「こども家庭センター」を設置し、児童福祉・母子保健分野における更なる連携と、一体的運営を行ってまいりました。</p>	こども家庭センター
8	星野委員	2	4	アドバイザー研修	参加人数、ケース検討で抽出された課題の例を教えてください	<p>○参加人数 全6回 延べ117人 ○ケース検討で抽出された課題 児童やその保護者が抱える精神疾患等が養育上の問題や虐待のリスク要因になることは少なくありません。こうした家庭を対象として相談・援助活動に携わる当センターの職員が、ケースの見立て方や問題解決に向けた手法等を児童精神科医師のアドバイスを踏まえ対応を検討しております。 一例として、複数の精神疾患を持っている保護者の行動特性に対して、どの精神疾患に起因しており、どのような配慮が必要か検討しました。保護者の行動特性に対して、その場面の状況を探ることで、新たな支援の方法や調査の必要性をご指摘いただき、再考する機会となっております。</p>	こども家庭センター

令和6年度 第1回松戸市虐待防止連携推進会議 ご意見まとめ

No	委員名	資料	ページ	項目	内容	回答	担当課
9	星野委員	2	5	情報交換	参加人数、情報交換で抽出された課題の例を教えてください	<p>[教育委員会との情報交換]○参加人数 延べ32名(年3回開催) ・対応に苦慮するケースに関して情報共有を行っております。情報共有すべき適切なケースを選定することで、限られた情報交換の機会を有効に活用してまいります。</p> <p>[学校警察連絡協議会]○参加人数 延べ約90名(年3回開催) [松戸市中学校生徒指導連絡協議会]○参加人数 延べ約40名 6機関、25学校 計 31機関 ・松戸市児童生徒課が主催しております。各学校から児童の非行を含む問題行動について共有を行い、健全育成に努めることを目的に開催されております。</p>	こども家庭センター
10	星野委員	2	5	関係機関との連携強化	ケースや情報共有から抽出された課題の例を教えてください	<p>虐待の発生予防するために、家族だけでは解決が困難な課題に対し、関係機関の情報共有が必要となります。制度やサービスの狭間に陥っているケースなどについて、各分野でどこまで手を伸ばしあえるかが課題の一つとなる場合があります。</p> <p>情報共有においては、それぞれの関係機関の見立てや目的を確認し、支援の方向性をすり合わせる必要があると認識しております。そのために、日ごろから顔が見える関係や関係機関の事業目的を理解する取り組みが課題となっております。一例として、一時保護から在宅支援へ移行する際に、一機関が抱く当該ケースの懸念事項について、こども家庭センターと事前に協議及び、整理したことで、その後周辺の関係機関と共有を図り、課題解決に向けて協働することができました。</p>	こども家庭センター
11	星野委員	3	6	松戸市高齢者虐待防止ネットワークの体系図	昨年度の担当者会議の開催実績、出席者、検討した事例数、抽出された課題の例を教えてください	<p>・令和5年度は、6回開催しており、出席者は保健医療関係(医師会、保健所)、警察、福祉関係(民生委員、訪看事業所、中核支援センター等)、行政関係課、全体会委員、地域包括等となっております。</p> <p>・経済的な問題、介護者の理解力が低い場合や精神疾患が疑われるケースへのアプローチ方法が課題として挙がっております。</p>	地域包括ケア推進課

令和6年度 第1回松戸市虐待防止連携推進会議 ご意見まとめ

No	委員名	資料	ページ	項目	内容	回答	担当課
12	星野委員	4	3	障害者虐待防止・障害者差別解消に係る会議等開催状況	ネットワーク担当者会議において、事例検証から抽出された課題の例を教えてください	課題としましては、初動から終結までの対応経過が長い事例があることや、養護者の聴き取りや面談が実施できず、虐待の有無がつけられないために判断至らずとなるケースが多いことなどが挙がっております。	障害福祉課
13	星野委員	4	6	対応	養護者と面談できないケースが増加しているとのことですが、具体的なケースを教えてください。	養護者と面談できないケースとして多いのは、突発的に発生した親子喧嘩や夫婦喧嘩及び交際者同士による喧嘩のケースになります。 具体的には、通報したことを秘匿にしたい被虐待者が虐待者からの報復を恐れて養護者への聴き取りや面談を拒むケースや虐待者が自身の行為を虐待と認識していないため、面談の必要性を感じていないケース、ほとぼりが冷めたことで市から連絡をしても応じていただけないケースなどでございます。	障害福祉課

① 高齢者虐待通報受理状況(養護者) ※重複あり

地域包括ケア推進課

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	人数	割合								
ケアマネジャー等	53	29%	47	22%	54	23%	73	25%	74	30%
家族	9	5%	9	4%	16	7%	24	8%	22	9%
虐待者	4	2%	2	1%	5	2%	4	1%	4	2%
被虐待者	7	4%	8	4%	11	5%	16	5%	16	7%
民生委員	3	2%	2	1%	4	2%	2	1%	2	1%
近隣住民・知人	1	1%	11	5%	14	6%	11	4%	6	2%
市・関係機関	15	8%	15	7%	22	10%	40	14%	32	13%
病院関係者	9	5%	7	3%	13	6%	10	3%	18	7%
警察署	77	42%	110	51%	88	38%	96	33%	64	26%
県高齢者福祉課	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
その他	9	5%	5	2%	5	2%	17	6%	13	5%
匿名・不明	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
実人数(人)	185		214		231		293		246	

② 障害者虐待通報受理状況(養護者)

※重複あり

障害福祉課

		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
件数		36		63		55		62		61	
① 本人	①-1 主障害が身体障害	0	0.0%	1	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	①-2 主障害が知的障害	2	5.6%	0	0.0%	1	1.8%	1	1.6%	0	0.0%
	①-3 主障害が精神障害 (発達障害除く)	9	25.0%	8	12.7%	7	12.7%	2	3.2%	5	8.2%
	①-4 主障害が発達障害	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	①-5 主障害が難病	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	①-6 主障害がその他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%	0	0.0%
	①-7 主障害は不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	② 家族・親族	0	0.0%	3	4.8%	1	1.8%	2	3.2%	1	1.6%
③ 近隣住民・知人	0	0.0%	1	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%	
④ 民生委員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
⑤ 医療機関関係者	3	8.3%	4	6.3%	0	0.0%	2	3.2%	0	0.0%	
⑥ 教職員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%	0	0.0%	
⑦ 相談支援専門員	1	2.8%	3	4.8%	6	10.9%	3	4.8%	4	6.6%	
⑧ 施設・事業所の職員	4	11.1%	6	9.5%	5	9.1%	2	3.2%	8	13.1%	
⑨ 虐待者自身	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
⑩ 警察	9	25.0%	19	30.2%	20	36.4%	35	56.5%	28	45.9%	
⑪ 当該市区町村行政職員	1	2.8%	2	3.2%	2	3.6%	3	4.8%	2	3.3%	
⑫ 介護保険サービス事業等 従事者等	2	5.6%	2	3.2%	2	3.6%	2	3.2%	2	3.3%	
⑬ 成年後見人等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
⑭ その他	5	13.9%	13	20.6%	10	18.2%	7	11.3%	10	16.4%	
⑮ 不明(匿名を含む)	0	0.0%	1	1.6%	1	1.8%	1	1.6%	0	0.0%	

③ 障害者虐待通報受理状況(使用者)

※重複あり

障害福祉課

		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
件数		2		3		5		11		3	
① 本人による届出	2	100%	1	33.3%	3	60.0%	4	36.4%	2	66.7%	
② 家族・親族	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	2	18.2%	0	0.0%	
③ 近隣住民・知人	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
④ 民生委員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
⑤ 医療機関関係者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
⑥ 教職員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
⑦ 相談支援専門員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
⑧ 施設・事業所の職員	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	1	9.1%	0	0.0%	
⑨ 就業・生活支援セン ター	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	2	18.2%	0	0.0%	
⑩ 職場の同僚	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
⑪ 当該事業所管理者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
⑫ 警察	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
⑬ 当該市区町村行政職員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
⑭ 介護保険法に基づく居宅 サービス事業等従事者等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
⑮ 成年後見人等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
⑯ その他	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	1	9.1%	1	33.3%	
⑰ 不明(匿名を含む)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	9.1%	0	0.0%	

④ 施設従事者等による受理状況

指導監査課

養介護施設従事者等による高齢者虐待の通報者

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
合計件数	18	24	40	26	32
(内訳) 本人・親族・市民等	4	2	8	5	9
養介護施設従事者等	8	13	26	16	12
行政職員等	5	7	5	3	9
その他	0	2	1	2	1
不明(匿名含む)	1	0	0	0	1

障害者福祉施設従事者等による障害者虐待の通報者

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
合計件数	17	8	20	23	29
(内訳) 本人・親族・市民等	8	0	8	9	9
障害者施設従事者等	3	1	9	9	10
行政職員等	0	1	2	1	1
その他	5	5	1	4	8
不明(匿名含む)	1	1	0	0	1

⑤ 児童虐待通報受理状況

こども家庭センター

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
計	940	1,245	1,360	1,366	1,387
家族	79	142	133	148	136
児相	599	622	716	744	765
警察	4	4	4	2	3
近隣 知人	38	49	82	53	45
学校等	54	112	128	122	135
保健福祉センター	21	42	58	33	59
福祉事務所	8	47	64	83	68
家裁 法務局	0	0	0	0	0
保育所・保育園	28	31	38	35	28
病院	23	42	19	20	14
民生児童委員	5	2	0	5	1
人権擁護委員	0	0	0	0	0
児童本人	1	7	12	6	2
施設	3	12	8	21	8
その他	77	133	98	94	123